

患者さんのご家族からのお便りのご紹介

よろず相談だより

一人暮らしをされていた60代のがん患者(終末期)さんのご家族より『最後ぐらいは、少しでも長く家で過ごさせてあげたいが、どうしたら良いか。』と在宅支援の相談を受けました。

患者さんの容態から時期を逸することができないので早急に訪問看護、往診医、訪問入浴、介護用ベッド等の手配をしました。手分けして何とか調整をやりくりして準備が出来たので、ご家族は数日の間ではありましたが、患者さんを安心して自宅に迎え入れることができました。

後日、娘さんから『一緒に過ごすことができ本当に良かったです』とお礼の言葉をいただきました。

床ずれ予防のポイント

皮膚・排泄ケア認定看護師 櫻井 由妃子

床ずれは、寝たきりの方に多くできますが、座っていることが多い方にもできやすいことはあまり知られていません。車いすなどに一日中座っている方は、車いすのクッションも床ずれ予防用(体圧分散用)を使用し圧迫を弱めたり、定期的に座り直すなどをして一定の場所に圧迫が加わるのを防ぐことが必要になります。また、食が細くなったり、栄養が偏っている方にも床ずれはできやすくなります。

床ずれ予防のポイントは以下のとおりです。

- ・栄養をバランスよく摂取する。
- ・一日の中で座っていることが多い方は、座る場所に床ずれ予防用クッション(体圧分散用)を使用する。
- ・座り直すなどをして一定の場所に圧迫が加わるのを防ぐ。

このようなことでお悩みの方は、WOC診察室にご相談ください。

～～ 編集後記 ～～

震災・津波・原発と、何だか重いニュースが連日流れています。ガンバレ日本ですね。

ところで、中部ろうさい病院から患者さんへ、ちょこっとだけ明るいニュースです。

それは、レントゲンフィルムが5月から無くなっています。

今までは、検査後、レントゲンフィルム(CT、MRI等含む)をお渡しし、それを外来診察室へお持ちいただいたのですが、5月からは、レントゲンフィルムをお渡ししませんので、検査が終わったらそのまま診察室の待合いにお越し下さい。チョット不安ですが、待っていればいいのです。(RAn)

